



令和3年2月1日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

戦略的創造研究推進事業CRESTコロナ対策臨時特別プロジェクトの 2020年度新規研究課題の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、新型コロナウイルスをはじめとする新興・再興感染症との共生に資する新技術シーズ創出に向け、医療分野にとどまらないさまざまな分野の研究者の力を結集した異分野融合研究を推進するため、戦略的創造研究推進事業CRESTコロナ対策臨時特別プロジェクトの2020年度研究提案を募集し、新規採択研究代表者および研究課題を決定しました。

本事業は、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す、新たな科学知識に基づく革新的技術のシーズを創出することを目的とした基礎研究を推進します。国（文部科学省）が戦略目標を設定し、その下に推進すべき研究領域と研究領域の責任者である研究総括（プログラムオフィサー）をJSTが定めます。研究提案は研究領域ごとに募集し、研究総括が領域アドバイザーらの協力を得ながら選考します。

CRESTでは、研究領域の下、選定された研究代表者が研究チームを編成して研究を推進します。

2020年度研究提案募集として、以下の研究領域において募集した結果、産学官各界の研究者から150件の応募がありました。

募集締め切り後、書類選考と面接選考（事前評価）を実施し、10件の研究課題とその研究代表者を採択しました。

「異分野融合による新型コロナウイルスをはじめとした感染症との共生に資する技術基盤の創生」

（研究総括：岩本 愛吉 日本医療研究開発機構 研究開発統括推進室 室長）

採択課題や評価者などは下記ホームページを参照してください。

CRESTホームページ：<https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/>

<添付資料>

参考1：戦略的創造研究推進事業CRESTコロナ対策臨時特別プロジェクトにおける
2020年度の研究提案募集の概要

参考2：選考の観点

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 戦略研究推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

保田 睦子（ヤスタ ムツコ）

E-mail：rp-info@jst.go.jp

戦略的創造研究推進事業CRESTコロナ対策臨時特別プロジェクトにおける 2020年度の研究提案募集の概要

1. 事業の趣旨

本事業は、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す、新たな科学知識に基づく革新的技術のシーズを創出することを目的とした基礎研究を推進します。

2. 事業の概要

国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズなどを踏まえ、「戦略目標」を国（文部科学省）が設定し、その下に推進すべき研究領域と研究領域の責任者である研究総括（プログラムオフィサー）をJSTが定めます。研究総括は、戦略目標の達成へ向けて、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズの創出を目指した基礎研究を推進します。

本事業のうち、CRESTでは、研究総括が研究領域を「ネットワーク型研究所」として運営します。研究領域ごとに研究提案を募集し、研究総括が領域アドバイザーらの協力を得ながら選考します。研究領域の下で、選定された研究代表者が研究チームを編成し、研究を推進します。

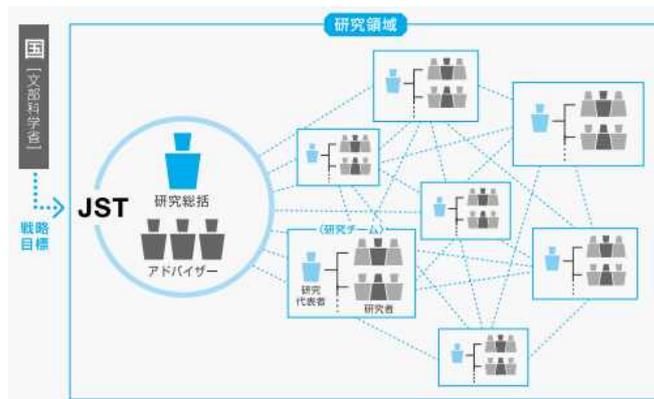


図1 CRESTの研究実施体制

3. CRESTの概要と特徴

- a. CRESTは、我が国が直面する重要な課題の克服に向けて、独創的で国際的に高い水準の目的基礎研究を推進し、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションに大きく寄与する、新たな科学知識に基づく創造的で卓越した革新的技術のシーズ（新技術シーズ）を創出することを目的とするネットワーク型研究（チーム型）です。研究領域の責任者である研究総括が定めた研究領域運営方針の下、研究総括が選んだ、我が国のトップ研究者が率いる複数のベストチームが、チームに参加する若手研究者を育成しながら、戦略目標の達成に向けて研究を推進します。
- b. 研究総括が、産・学・官の各機関に所在する研究代表者を総括し、研究領域を「ネットワーク型研究所」として運営します。研究総括は、その研究所長の役割を果たす責任者として、領域アドバイザーなどの協力を得ながら以下の手段を通じて研究領域を運営します。
 - ・研究領域の運営方針の策定

- ・研究課題の選考
 - ・研究計画（研究費、研究チーム編成を含む）の調整・承認
 - ・各研究代表者が研究の進捗状況を発表・議論する「領域会議」の開催、研究実施場所の訪問やその他の機会を通じた、研究代表者との意見交換、研究への助言・指導
 - ・研究課題の評価
 - ・その他、研究活動のさまざまな支援など、必要な手段
- c. 研究代表者は、自らが立案した研究構想の実現に向けて、複数の研究者からなる1つの最適な研究チームを編成することができます。研究代表者は、自らが率いる研究チーム（研究課題）全体に責任を持ちつつ、研究領域全体の目的に貢献するよう研究を推進します。

4. 募集研究領域

「異分野融合による新型コロナウイルスをはじめとした感染症との共生に資する技術基盤の創生」

（研究総括：岩本 愛吉 日本医療研究開発機構 研究開発統括推進室 室長）

5. 研究費および研究期間

研究期間内の研究費総額（上限額）	研究期間
1.5億円	3年2ヵ月以内 (2023年度末まで)

6. 募集期間

2020年9月29日（火）～10月27日（火）正午

選考の観点

- (1) CRESTの各研究領域に共通の選考の基準は、以下の通りです。
- a. 戦略目標の達成に貢献するものであること。
 - b. 研究領域の趣旨に合致していること。
 - c. 独創的であり国際的に高く評価される基礎研究であって、今後の科学技術イノベーションに大きく寄与する卓越した成果が期待できること。
 - d. 以下の条件をいずれも満たしていること。
 - ・ 研究提案者は、研究遂行のための研究実績を有していること。
 - ・ 研究構想の実現に必要な手掛かりが得られていること。
 - ・ 研究提案書において、①研究構想の背景（研究の必要性・重要性）、②研究提案者の実績（事実）、および③研究構想・計画の3者を区別しつつ、それぞれが明確に記述されていること。
 - ・ 最適な研究実施体制であること。研究提案者がチーム全体を強力に統率して責任を負うとともに、主たる共同研究者を置く場合は研究提案者の研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できる十分な連携体制が構築されること。
 - ・ 研究提案者の研究構想を実現する上で必要十分な研究費計画であること。
 - ・ 研究提案者および主たる共同研究者が所属する研究機関は、当該研究分野に関する研究開発力等の技術基盤を有していること。
- (2) 上記の他、研究領域ごとに独自の選考の観点・方針や運営の方針などを設定しました。
- (3) 研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」に当たるかどうか、選考の要素としました。